

# 松島テクノの CSR

## 1. 法令の遵守

法令遵守は企業が事業活動を行うにあたっての前提であるとともに、企業が最低限守るべき義務でもあります。企業が法令に反する行為を行えば社会的存在として認められないということであり、そのことをまず十分に認識しておく必要があります。法令遵守は、すべての企業行動の基本に置くべき項目といえます。

法令遵守を確実にするためには、その責任者を明確にしておくとともに、自社の実情に応じたかたちで、社内規定やマニュアル等を作成・整備し、啓発・教育活動を通じて社内へ浸透させていきます。

## 2. 人権の尊重

人権は、すべての人に与えられた基本的権利であり、普遍的かつ不可分な権利です。企業活動に関係する社内外の人々の人権を尊重し、人種・民族・宗教・国籍・社会的身分・性別・年齢・障がいの有無などによる差別を排除する企業風土をつくりあげ、直接的な人権侵害のみならず、間接的な影響にも配慮した行動を行います。

## 3. 環境への対応

環境対策としては、まず省エネルギー・省資源や 3R（Reduce・Reuse・Recycle）による廃棄物の削減が考えられます。主な取り組みとして、環境負荷物質の低減、RoHS 2 に対応、銅線・紙のリサイクル、梱包資材のリユース、産業廃棄物の適正処理、冷房設備の推奨温度設定、LED 照明の導入等を行っています。

これら基本的な対応策に取り組むことで、「循環型社会の形成」に貢献していくことが可能となり、環境にやさしい商品・サービスを提供する工夫や、環境技術の研究・開発に積極的に取り組むこと、グリーン購入（環境負荷ができる限り少ない製品・サービスの調達）を行ってまいります。

## 4. 従業員の就業環境整備

従業員（パートタイマー等を含む）は企業の重要な経営資源であり、従業員を「顧客」「取引先」と同様に、重要なステークホルダーと捉え、職場環境の整備や、公平な評価・処遇をはじめとする十分な対応を行い、従業員と共に企業の成長を図っております。従業員が仕事を通じて自己の能力を存分に発揮し、職場を自己実現の場と感じることができるよう、安全で働きやすい職場環境を整えます。このことが、従業員に企業の一員として連帯感・責任感を持たせることとなり、組織力の一層の強化による企業業績の発展にもつながります。

当社では子育て世代の女性の活躍を積極的に進めています。子育て、または介護等に係りながらも働く機会を持てるよう、コミュニケーションの機会を設けて、従業員の声を聞くことで、個々人の状況などを把握し、従業員の就業環境整備を整えております。

## 5. 顧客からの信頼獲得

顧客・消費者を満足させ、信頼を獲得するためには、提供する商品・サービスについて適正な表示を行い、品質の維持・向上に努めるなど、品質保証について万全を期さなければなりません。万一、商品・サービス内容等に欠陥・問題が発生した場合には顧客・消費者の安全・安心を最優先させ、迅速に適切な措置をとります。

さらに、再発防止を図る観点から、商品・サービスの 不具合やトラブル等の十分な事実確認を行い、その事実について社内の関係部署に速やかにフィードバックができる体制をつくっております。

## 6. 取引先との相互発展

取引先とは、自由で公正な取引ルールを尊重して、契約等に従った誠実な取引を行い、円満な 取引関係を築くことが必要です。さらに、円滑な取引のため、取引上必要と思われる情報については、状況に応じて提供するなどの意思疎通にも努めて、日頃から信頼関係を深め、談合・価格調整・優越的地位の濫用などの不正な取引については、徹底して排除します。取引先に関わる情報を収集する必要がある場合には、法令遵守の観点から、適切な手段・方法により実施して、取引先の企業秘密・知的財産権の侵害にならないように配慮します。また、入手した企業情報については漏えいなどが起きないように確実な管理を行います。

## 7. 地域との共存

地域社会と企業との関係は切り離せないものであり、企業は地域コミュニティと良好な関係を築き、維持していく必要があります。そのためには、地域の歴史・文化・慣習などを理解・尊重し、地域社会への十分な理解を踏まえた企業活動を行います。地域社会での具体的な活動・取り組みとしては、地域行事等の地域活動への参加し、地域経済の発展に貢献できる事業活動に積極的に取り組みます。

## 8. 反社会的勢力への対処

暴力団などの反社会的勢力や団体に対しては「おそれない」「金を出さない」「利用しない」「交際しない」の原則を徹底し、あらゆる関係を絶つことが不可欠です。また、企業のトップは、反社会的勢力との関係は断固として排除する決意を社内外に明らかにしており、危機管理を自らの役割と認識して対応してまいります。